



口加だより

平成30年3月23日発行
長崎県立口加高等学校
第12号

あやめが丘の窓から

3

校長 下釜 祐保



口加高校の校訓は「豊かなる情感」「透徹せる知性」「強靱なる生命力」の“3鋼”からなる。教師になったばかりの頃、先輩から「生徒に惚れろ」「仕事に惚れろ」「環境（職場・地域・保護者）に惚れろ」、これが教師の“3惚れ”だと教わった。人生で大切にしなければならないのは“3J”「時間」「情報」「人脈」だ。また、“3く”は「清く」「正しく」「美しく」である。“3”とは、不思議な数字、興味深い数字である。

20～60代の全国の男女を対象に、0～9の数字の中で最も好きなものをインターネット上で調査したデータがある。この調査によると、第1位は「7」、第2位は「5」、そして第3位は「3」だった。この調査でも、第3位に「3」が来るところがまた「3」らしい。

平成30年、3月。3年間お世話になった口加高校を離れることになった。

学校経営3本の矢として、「授業法改善を含む学力保障と進路保障」「新コース・新学科の新設を含む学校魅力化と入学生確保」「総合戦略会議を核とする総力の結集」を謳い、生徒たちや全職員とともに歩みを進めてきた。「普通科」「普通科グローバルコース」「福祉科（仮称）」の3学科（3コース）体制の完成を目前にしての異動は残念だが、元来、この世は無常。3月末日、正門で口加高校に三拝して本校を離れた。

この間、口加高校への本当に暖かいご支援、ありがとうございました。心から御礼を申し上げます。この『口加だより』の「あやめが丘の窓から」のコーナーも、駄文・拙文・乱文にお付き合いくださりありがとうございました。毎月の原稿作成のたび、正直申しまして「(作文の) 難しさ」「(人様に読んで頂く) 怖さ」「(何といても) 学の無さ」の“3さ”を痛感して参りました。毎号、お読みくださった読者の皆さま、生徒諸君に感謝したいと思います。

最後になりましたが、口加高校のますますのご発展と関係の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念し、この紙面を閉じさせていただきます。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

今月のグローバルコース

3月12日(月)今年度2度目となる、ガイヒーリージャパン・イングリッシュセミナーを実施しました。今回は3名のアメリカの大学生と、英語でのプレゼンテーションやディスカッションを通して学習を深めました。学習を通して、自分が成長した部分、まだまだ足りていない部分を体感した様子でした。「前回と比べ、積極的に話しかけることができるようになりました。友達に手伝ってもらうこともありました。自分の意見や考えを知っている単語や文法で伝える事ができたと思います。」

また、3月18日(日)には、有馬キリシタン遺産記念館や原城跡を巡り、プロのガイドに話を聞くことで、自分たちの故郷の歴史を改めて知るよい機会となりました。



離任される先生方

山本 文隆 先生 → 島原高校 年齢には勝てず本年度で実質の退職ですが、これからは短時間勤務でやっていきます。1年間という短い間ではありましたがお世話になりました。	宮川 律子 先生 → 島原農業高校 お世話になりました。 同じ島原半島におります。見かけたら声をかけてくださいな。皆さんのことは忘れません。
野口 敦子 先生 → 佐世保南高校 素直で心優しい皆さんと過ごせた日々は大切な宝物です。4年間お世話になりました。ありがとうございました。	内田 政孝 先生 → 島原高校 7年間お世話になりました。素晴らしい生徒たちのおかげで充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
久部 利恵子 先生 → 佐世保北高校 純朴でかわいい生徒のみなさんと、心温かい地域の方々のおかげで、6年間充実した日々を送ることができました。お世話になりました。	藤本 和弘 先生 → 波佐見高校 頑張る人、頑張ろうとする人の多いステキな口加高校。私は皆さんのストレスが溜まらないよう、おしゃべりな言葉遊びで緊張をほぐし、頑張り続けられるようサポートしてきました。政治や社会に関心を持ち、明るく行動して下さい。ありがとうございました！
田中 秀和 先生 → 諫早高校 問題行動がないのは、他を思いやる気持ちがある人たちばかりだからだと思っています。そのまま進んでいってください。	本多 優子 先生 → 五島高校 皆さんののおかげでここまで来ることができました。生徒の皆さん、これからも何事にも積極的に関わってってください。
山田 千賀 先生 ⑥っという間の口加高校ライフ ⑦りしく成長していくみんなと ⑧つつ溢れる先生方と過ごした日々は ⑨んでもなく幸せな時間でした ⑩ふふ	磯口 勇平 先生 → 松浦高校 あっという間の1年間でしたが、とても充実していました。口加高校での出会いに感謝です。ありがとうございました。
山本 みゆき 先生 13年間の勤務でした。 いつも、前向きでひたむきな口加高生に励まされてきました。ありがとうございました。	小森 友香 先生 → 長崎南高校 初めての学校勤務、生徒の皆さんの若い力を分けてもらえたような気がします。 3年間お世話になりました。



職員ペンリレー

内田 政孝

子どもの頃、家にいるよりは友だちと外で遊ぶことが好きだった私は、本も学校の教科書以外はほとんど読んだことがなかった。特に苦手だったのは夏休みの宿題に必ず出される読書感想文。本を読んで感じることは人それぞれと考えていた私は、毎回自分の思うがままに書いて提出していたが、必ず先生の赤ペン訂正が入って戻ってきた。こういうことを繰り返すうちに読むことも書くことも苦手意識が強くなり、できるだけ読んだり書いたりすることは避けてきた。しかし、そんな甘えが通用するわけもなく、大学時代には毎日日本を読み、自分の意見をまとめてレポートを書かなければならなかった。毎日が大変で、とても苦勞した。しかし、そのおかげで本を読むことを楽しく感じるようになった。いろんなジャンルの本を気ままに読む楽しみも知ることができた。今では時間があれば図書館や本屋に行って、気に入った本を読んで楽しんでいる。できることなら読書の楽しさにもっと早く気づけば良かったと後悔することも多いが、今さら仕方ない。これからも気ままに読書を楽しんでいきたい。

生徒育成部より

生徒育成部主任 田中 秀和

今年度を振り返ってみると、落ち着いた様子で生活する生徒が多く、交通安全に対する意識が向上した。2年連続して、バイク・自転車の事故がなかったことはよかった。風紀美化委員会による自転車ロック点検はよく活動してくれた。また、生徒数が少ない中で、皆で協力して学校行事に積極的に参加する姿が見られ、生徒の成長が感じられる1年であった。高校総体、野球部の夏の選手権大会や駅伝応援では、全校応援を実施することができた。戦う選手、応援する生徒、両者の懸命な姿に教室では感じるこのできない一体感を感じることができたのではないかな。

心配なことは携帯電話の利用についてである。昨年度よりも校内への持ち込み件数が増加し、生徒の携帯電話への依存度が高まっているのではないかと危惧している。全国的には利用時間の増加、SNSに関する問題、他人への嫌がらせなど問題は様々であり、今後も保護者の方々と連携しながら本校なりの指導を継続していく必要がある。

他を思いやる気持ちがあれば、いろいろなことが良い方向に向かうように思う。来年度も、思いやりを持った行動を心がけましょう。

第1学年主任挨拶

第1学年主任 平山 陽一

入学式前のオリエンテーションで新入生を前に「宿泊研修」について、「高校生活」について話をしたことを鮮明に覚えています。あれから一年が経ち、みなさんはどのように変化したでしょうか。「宿泊研修」では「時を守り 場を清め 礼を正す（森信三）」を繰り返し繰り返し、伝えました。人としての道・倫理観のスタートがそこにあると感じているからです。さて、経過したこの1年で知力・体力以外に何か身につけたものはありますか。私は個人的に教科指導・部活動指導の中で前述の「人としての道」や「倫理観」について生徒に考えて欲しいと思って指導しています。「自律心」「無危害」「善行」「正義」いろいろ考えたあげく、今はこれらがそれに当たるのではないだろうかと考えています。時間が経てば変わるかもしれませんが。

さらに最近大事にしたいと考えていることは上記の4つに加え「愚行の尊重」です。なかなかできないでいるんですが、柔軟で力強い「愚行」を大事にできる教師になりたいと最近思っています。みなさん、1年経過しました。知力・体力以外で何を身につけ、どんな大人になりたいと考えていますか。いつも言いますが、答えは出なくても、考えたことがあるということが大切だと思います。ぜひ、真剣に考えてみてください。

進路指導部より

進路指導部主任 本多 優子

本年度の卒業生の進路実績（合格者延べ数）は3月9日現在で、次の通りです。

国公立大学	16名	私立大学	36名
医療系専門学校	19名	その他専門学校	15名
短期大学	8名	一般就職・公務員	5名

国公立大については、難関である九州大学を始め、東京農工大学、熊本大学、長崎大学、大分大学、長崎県立大学等に合格しました。私立大学についても、明治大学、立命館大学、西南学院大学、福岡大学などへの合格を果たしてくれました。専門学校については、国立病院機構の嬉野医療センター附属看護学校、長崎市医師会看護専門学校など多数合格しています。公務員についても、地元南島原市、雲仙市、自衛隊曹候補生などの合格を果たしました。

これらの合格実績は、この卒業生達が高校生活の中で、早朝補習から放課後自学、さらに個別添削など進路達成に向け懸命に努力してきた日々がもたらしたものです。進路は様々であれ、自分の進路に向かって頑張り続けた生徒達を誇らしく思います。これからの進路先でも果敢に努力する姿勢で歩んでいってほしいと願っております。

さて、在校生達は次の学年への心構えができていますでしょうか。1年生は高校の基本となる知識や経験を基に次の1年間も充実したものにしてください。2年生にとっては、いよいよ人生の大舞台に立つ1年がスタートします。全力を尽くして目標へと邁進して行って下さい。

最後に、保護者の皆様には、本年度も補習、対外実力テスト・模擬試験、進路講演会など様々な面でご理解とご協力頂きましたことを心より感謝申し上げます。進路が多様化する昨今ですが、来年度も生徒全員の進路希望を達成できるよう尽力してまいりますので、どうか今年度同様、ご協力のほどよろしくお願い致します。

第2学年主任挨拶

第2学年主任 松本 辰哉

中堅学年として過ごしてきた1年間が終わろうとしています。今年1年間あえて使わなかった言葉を今使います。「中だるみの2学年」にならなかったですか？言葉には魂がこめられていると思っています。昔はよく卒業アルバムに「言葉は言霊 字は力 顔さえ作れ」と書いていました。本当は気持ちが一番大事なことは分かっているのですが、どうしようもないときは形から入ってもいいでしょう。気持ちが滅入って萎えそうなどき、根拠がなくても構わないからつぶやいてみよう「しあわせだなあ〜」と…

さて、4月からはついに3年生です。今までで1番酷な要求をします、「**結果**出して下さい！」学習も部活も。他の誰のためでもなく、自分のために結果を残そう。自分の力で自信をつかみ取るために、結果につながる努力を「一生懸命」に「バランス良く」がんばろう！そうすれば、誰かさんみたいに「人生クソやな！」なんて考えにはならないでしょう。期待しています。

保護者の皆さんにおかれましても、お弁当作りからPTA活動まで幅広く生徒たち、口加高校を1年間支えていただきありがとうございました。来年度もよろしくお祈りします。

今月の生活創造コース

3月2日（金）乳幼児親子交流学習（2年）

年間を通して実施してきた交流学習も今回が最後でした。

ご協力いただいた方々、ありがとうございました！

3月10日（土）口之津図書館お話しボランティア（2年）

